

各 位

公益社団法人 土木学会

## 「土木学会認定土木技術者資格」受験のご案内とポスター掲示のお願い

拝 啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より本会の運営につきましては、種々ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

グローバル化が急速に進展し、あらゆる面で国際競争力が問われる時代を迎えて、「美しい国土」、「安全にして安心できる生活」、「豊かな社会」を支える社会基盤整備に深く関わる土木界も構造的な改革を迫られています。土木界が持続的に発展していくためには、土木の信頼性向上に資する「顔の見える土木技術者」の育成が必要です。

土木学会（会長：小野武彦）では、2001（平成 13）年度に「土木学会認定技術者資格制度」を創設し、こうした時代の要請に応えてきました。この技術者資格制度は、①資格の階層性（4 ランク）、②資格分野の多様性、③資格の更新性といった特徴を持っています。また、ライセンス（免許）ではなくクオリフィケーション（適格性の評価）の観点から、技術者の力量（レベル）を区分し、対象とする技術領域を業務のプロセスや土木技術の主要な分野をできるだけ大括りに網羅した形で構成しています。

こうした特徴を活かし、本会の土木技術者資格を土木技術者の基本的な資格とするため、言い換えれば、多種多様な土木に関する資格のプラットフォームとするため、技術者資格制度および各資格の名称に「土木」を加えるとともに、資格審査において他の資格の保有を積極的に考慮するなど、制度改革を進めております。

また、近年、皆様のご支援により、土木学会認定土木技術者が公共工事における発注者支援業務の管理技術者の要件に追加されるなど、実務での活躍の場も広がってきております。

つきましては、本資格制度を、多くの方々にご活用いただきたく、2013 年度の審査実施に関する資料を送らせていただきますので、広くご案内いただければ幸いです。ご多用のところ大変恐縮に存じますが、格別のご支援、ご高配を賜りたく、よろしくごお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 受験申込期間：6 月 1 日（土）～6 月 30 日（日）
2. 関連情報：土木技術者資格制度のサイト <http://www.jsce.or.jp/opcet/shikaku.shtml> をぜひご覧ください。
3. 添付資料：土木技術者資格 受験案内ポスター・チラシ・受験案内書

〔本件に関する問合せ先〕

土木学会 技術推進機構（担当：工藤）

〒160-0004 東京都新宿区四谷 1 丁目（外濠公園内）

TEL：03-3355-3502/FAX：03-5379-0125 E-mail：opcet@jsce.or.jp

以 上

2013年度受験のご案内

# 土木学会認定土木技術者資格

国土交通省や地方公共団体が発注する業務などで認定土木技術者の活用が進んでいます。入社のためのエントリーシートで土木技術検定試験の可否の確認が進んでいます。

## 資格が創る 未来の未来

受験申込  
期間

**6月1日(土)～6月30日(日)** (インターネット申込み)  
(但し、土木技術検定試験は随時申込が可能です。)

- ◆土木学会会員以外の方にも資格を認定しています。
- ◆詳細はホームページをご覧ください。

- ◇土木学会の土木技術者資格制度は、「倫理観と専門的能力を有する土木技術者を土木学会が責任を持って評価し、これを社会に明示すること」を目的としています。
- ◇資格は4つの階層に分かれており、各資格は将来の土木技術者像を考慮した資格分野から構成されています。
- ◇継続教育 (CPD) とリンクした更新制度が特徴です。

■2013年度の各資格の審査方法等は以下のとおりです (○:実施するもの、一:実施しないもの)。

資格名	筆記試験			審査実施時期
	択一式 問題	記述式 問題	口頭試問	
特別上級土木技術者	—	—	○	口頭試問: 11月16日(土)
上級土木技術者	コースA	—	○	筆記試験: 8月31日(土) 口頭試問: 11月16日(土)
	コースB	—	—	口頭試問: 10月～12月の土曜日、 日曜日(分野毎に日程を設定)
1級土木技術者	コースA	—	—	筆記試験: 8月31日(土)
	コースB	—	—	口頭試問: 10月～12月の土曜日、 日曜日(分野毎に日程を設定)
2級土木技術者 (土木技術検定試験)	○	—	—	CBT*方式により全47都道府県の 指定試験会場で通年受験可能。

\*CBT: Computer Based Testing (コンピュータを利用した試験)

- 上級土木技術者と1級土木技術者の審査では、技術士などの資格の有無を考慮します。
- コースAは筆記試験主体のコース、コースBは口頭試問主体のコースです。
- 土木技術検定試験は、どなたでも受験することができます。
- コンピュータを利用した「土木技術検定試験」の結果を、2級土木技術者資格の認定に用います。

受験申込みは、土木学会 技術推進機構のホームページ <http://www.jsce.or.jp/opcet/> からお願いします。  
[土木技術者資格制度] に関する情報は、上記ホームページに随時掲載しております。

お問合わせ



公益社団法人 土木学会  
技術推進機構まで。

TEL: 03-3355-3502 (土日祝日を除く)  
FAX: 03-5379-0125  
E-mail: opcet@jsce.or.jp

# 2013年度の受験資格

※全資格、土木学会の会員以外の方も受験できます。

資格の名称	資格に要求される専門的能力	受験資格		
特別上級土木技術者 Executive Professional Civil Engineer	専門分野における高度な知識および豊富な経験に基づく広範な見識により、日本を代表する技術者として土木界さらには社会に対して、多面的に貢献できる能力。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実務経験年数が17年以上あること。</li> <li>・原則として上級土木技術者資格を有すること。</li> </ul>		
上級土木技術者 Senior Professional Civil Engineer	複数の専門分野における高度な知識、あるいは少なくとも1つの専門分野における豊富な経験に基づく見識を有し、重要な課題解決に対してリーダーとして任務を遂行する能力。	受験対象者の業務経験としては、責任ある立場で5年以上の経験年数を有していることが必要です。また、技術レベルとしては、担当プロジェクトの遂行に際し、必要技術に関する十分な知識を有するとともに、的確な判断力、マネジメント力により、責任ある立場で納括できる技術者であることを想定しています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・下位の資格を有していなくても、直接受験することができます。(1級、2級などの事前取得は不要です。)</li> <li>・実務経験年数が12年以上あること。ただし、大学院在籍も実務経験と見なします。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="576 752 1525 1066"> <tr> <td data-bbox="576 752 975 1066"> <b>【コースA】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「1級土木技術者」、「技術士」または「RCCM」資格を有する受験者には、「経験に係わる課題」の解答提出と口頭試問を免除します。</li> </ul> </td> <td data-bbox="975 752 1525 1066"> <b>【コースB】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別上級土木技術者資格もしくは上級土木技術者資格の認定者、または技術者としての経験が17年以上で受験者の技術力を評価できる方の推薦が必要です。ただし、「1級土木技術者」、「技術士」または「RCCM」資格を有している方の受験申込に際しては、推薦は不要です。</li> <li>・「1級土木技術者」、「技術士」または「RCCM」資格を有する方については、口頭試問の時間を短縮し、25分程度とします。</li> </ul> </td> </tr> </table>	<b>【コースA】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「1級土木技術者」、「技術士」または「RCCM」資格を有する受験者には、「経験に係わる課題」の解答提出と口頭試問を免除します。</li> </ul>	<b>【コースB】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別上級土木技術者資格もしくは上級土木技術者資格の認定者、または技術者としての経験が17年以上で受験者の技術力を評価できる方の推薦が必要です。ただし、「1級土木技術者」、「技術士」または「RCCM」資格を有している方の受験申込に際しては、推薦は不要です。</li> <li>・「1級土木技術者」、「技術士」または「RCCM」資格を有する方については、口頭試問の時間を短縮し、25分程度とします。</li> </ul>
<b>【コースA】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「1級土木技術者」、「技術士」または「RCCM」資格を有する受験者には、「経験に係わる課題」の解答提出と口頭試問を免除します。</li> </ul>	<b>【コースB】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別上級土木技術者資格もしくは上級土木技術者資格の認定者、または技術者としての経験が17年以上で受験者の技術力を評価できる方の推薦が必要です。ただし、「1級土木技術者」、「技術士」または「RCCM」資格を有している方の受験申込に際しては、推薦は不要です。</li> <li>・「1級土木技術者」、「技術士」または「RCCM」資格を有する方については、口頭試問の時間を短縮し、25分程度とします。</li> </ul>			
1級土木技術者 Professional Civil Engineer	少なくとも1つの専門分野における高度な知識を有し、自己の判断で任務を遂行する能力。	受験対象者の業務経験としては、責任ある立場で3年以上の経験年数を有していることが必要です。また、技術レベルとしては、比較的小規模なプロジェクト、あるいは相当規模のプロジェクトの一部をなす業務の遂行に際し、自らの知識と経験に基づき、的確な判断ができる技術者であることを想定しています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・下位の資格を有していなくても、直接受験することができます。(2級の事前取得は不要です。)</li> <li>・実務経験年数が7年以上あること。ただし、大学院在籍も実務経験と見なします。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="576 1290 1525 1603"> <tr> <td data-bbox="576 1290 975 1603"> <b>【コースA】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「技術士」または「RCCM」資格を有している方については、「共通問題」および「専門問題」のみとし、「経験問題」を免除します。</li> </ul> </td> <td data-bbox="975 1290 1525 1603"> <b>【コースB】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別上級土木技術者資格もしくは上級土木技術者資格の認定者、または技術者としての経験が12年以上で受験者の技術力を評価できる方の推薦が必要です。ただし、「技術士」または「RCCM」資格を有している方の受験申込に際しては、推薦は不要です。</li> <li>・「技術士」または「RCCM」資格を有している方については、口頭試問の時間を短縮し、25分程度とします。</li> </ul> </td> </tr> </table>	<b>【コースA】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「技術士」または「RCCM」資格を有している方については、「共通問題」および「専門問題」のみとし、「経験問題」を免除します。</li> </ul>	<b>【コースB】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別上級土木技術者資格もしくは上級土木技術者資格の認定者、または技術者としての経験が12年以上で受験者の技術力を評価できる方の推薦が必要です。ただし、「技術士」または「RCCM」資格を有している方の受験申込に際しては、推薦は不要です。</li> <li>・「技術士」または「RCCM」資格を有している方については、口頭試問の時間を短縮し、25分程度とします。</li> </ul>
<b>【コースA】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「技術士」または「RCCM」資格を有している方については、「共通問題」および「専門問題」のみとし、「経験問題」を免除します。</li> </ul>	<b>【コースB】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別上級土木技術者資格もしくは上級土木技術者資格の認定者、または技術者としての経験が12年以上で受験者の技術力を評価できる方の推薦が必要です。ただし、「技術士」または「RCCM」資格を有している方の受験申込に際しては、推薦は不要です。</li> <li>・「技術士」または「RCCM」資格を有している方については、口頭試問の時間を短縮し、25分程度とします。</li> </ul>			
2級土木技術者 Associate Professional Civil Engineer	土木技術者として必要な基礎知識を有し、与えられた任務を遂行する能力。	土木技術検定試験（コンピュータを利用した試験）において、合格された方には「2級土木技術者」の能力があると見なされ、1年以上の実務経験年数等の資格登録要件を満たせば、本人の申請により「2級土木技術者」の認定を受けることができます。(大学院在籍も実務経験と見なします) <ul style="list-style-type: none"> <li>・土木技術検定試験は、どなたでも受験することができます。</li> </ul>		